

長野県数学会「アンケート」集約結果

1. 高校・大学数学教育研究会について

(1) 本年度の感想・反省事項

- ・大 高の視点に偏っている印象が強い。高 大の視点から連携を深めていく方策が必要。(例)あるテーマに対し、高・大相互の授業を見せ合い検討する。等
- ・仕事の忙しさもあり、参加できないのが現状です。
- ・生徒の参加がなくて残念であった。
- ・入試問題解説の各学部30分は少し短い。
- ・数学オリンピックに関する講演は新鮮で面白かった。
- ・参加できませんでした。(多数校回答)

(2) 来年度への要望

研究の内容について

- ・是非続けてもらいたい。
 - ・信大理学部について扱う問題量が多いので、もっと時間をあてて欲しい。
 - ・信大教育学部についても問題解説をお願いしたい。
 - ・継続希望。大学・学部を2つ位に絞っても良い。問題作りの苦勞なども聞けるとよい。
- 講演会の講師及び内容について
- ・最近では参加できないでいるが、意欲ある大学の先生の講演を聴きたい。

その他

2. 総会・研究大会について

(1) 日程・運営について

- ・良いと思う。
- ・長野県高等学校総合文化祭と重なると、参加は難しくなる。

- ・参加者の減少傾向が心配である。
- ・イベント的な企画も取り入れて、参加者を増やす工夫が必要か。
- ・新人戦や総文祭と重なって、参加体制が十分にとれなくて残念であった。(2支会)
- ・新人戦や総文祭と重ならないように、お願いしたい。(2支会)
- ・大会と重ならないように考えてほしい。代理もいない状況でした。
- ・いろいろ他とバティングする時期だとは思いますが。ただしそれは、いつに設定しても出てくる問題でしょう。
- ・参加しやすい日程だった。無理なく継続できればいい。
- ・参加できませんでした。(多数校回答)
- ・今年度並みでよい。

(2) 分科会の持ち方(分科会の数等) 研究発表

表(内容等)について

- ・2つに分かれて行っていたが、良いと思う。個人的に勉強になった。
- ・参加者が少なくて残念であった。
- ・手ごろな数と内容であったと思います。
- ・3分科会で1つは自由研究(個人)としたらどうか。
- ・概ね良かったと思いますが、分科会の時間はもう少し多めにとってもよいのではないかと。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・時間配分がちょうど良かった。
- ・高度すぎる内容で、現場にはあまり役立たないものもあった。
- ・大学の先生にも来ていただき、助言して欲しかった。

- ・指導法の研究も良いが、ピュアな数学の内容もやって欲しかった。

(3) 全体会・講演会について

全体会のあり方について

- ・良い。
- ・役員以外の参加者が少なく残念だった。
- ・係でもならないと参加しない状況が相変わらずです。

講演会の講師及び内容について

- ・大変良かった。
- ・講演会だけ聴きに行く先生方もいる。良い講師を選んでほしい。
- ・ピュアな数学者の話も聞きたい。
- ・わかりやすい話で、興味深く聞かせていただきましたが、自分の現状とのギャップも感じました。
- ・県教委や校長・教頭先生に、聞いていただきたい内容だった。
- ・いい話が聞けた。
- ・数学教育の内容について、もっと深められる講演がいいと思う。

3. 夏期研修会

- ・個人的に楽しかった。今後も続けてほしい。
- ・今年度は参加できなかったが、昨年度参加して内容が良かった。これからも続けてほしい。
- ・参加者が少なく残念だった。
- ・参加者にとって、大変有意義な研修会であった。
- ・今後も数学研究の最先端の一部を素人でも垣間見られるようなテーマでの研修を期待したい。
- ・あり方を検討したい。
- ・とても興味深い内容だった。2～3年に1度はお願いしたい団体である。

- ・どんな内容にするか、担当幹事の先生もご苦労されたと思います。大学レベル以上の数学に触れるよい機会だと思いますが、内容・日程は検討が必要だと考えます。

- ・参加できませんでした。(多数回答)
- ・参加者が少ないので、来年度は中止にしたらどうだろうか。

4. 会誌について

(1) 内容について

- ・今のまま継続して欲しい。
- ・大会特集号が2年続いたが、良い内容であった。今年はなくなってしまって残念。予算的なこともあると思うが、継続して欲しいかった。
- ・地元大学の先生方からの執筆などがあるとよいと思う。
- ・概ね良い。
- ・なかなか読み切れないというのが正直なところです。
- ・研究の様子が分かるので参考になります。
- ・お手数ですが、よろしく継続願います。

(2) 発行回数(現在は2回)について

- ・今のままでよい。
- ・負担にならないように、やって欲しい。
- ・1回でよい。またはA4かB5か、どちらかに合わせてもらいたい。
- ・予算や業務の縮小から1回でよいのでは、と思います。
- ・1回にまとめても良いのではないか。(2支会)
- ・ちょうど良い。(2支会)
- ・2回必要でしょうか。
- ・会誌はなくてもいいかなという思いもある。

5. 本会に関する意見・要望

(1) 研究母体について（現行は支会単位）

- ・現在のままで良い。
- ・県数の会員が減少しているなか、支会単位で集まって、皆でまとまって1本のレポートを作成するのは難しくなっている。個人レポートで良しとして欲しい。
- ・全県統一テーマを設定し、テーマに向けて各支会から多角的なアプローチをしてみたらどうか。
- ・北東南中信の4ブロック化を検討したらどうか。
- ・良い。
- ・支会単位が適当と思います。
- ・レポートの寄せ集めは、中途半端になりやすく、難しいかもしれないが、やむを得ないと思う。
- ・学校によって会員数が違い、役員の輪番制に無理が出ている。また、それが原因となり会員を辞める人が出始めている。
- ・蘇南高校など、地理的に離れていて交通の不便さのあり学校も多いが、可能な範囲で参加する方向で活動できています。
- ・県数の加入率はどの位か？都市部の学校でも会員が少なく、従来通りの輪番がうまくいかないケースも出ている。負担増が加入率の低下に拍車をかける心配がある。
- ・「教文と一本化」という意見もあった。

(2) その他（インターネットの取り扱い等）

- ・県数の研究会は（現在は残念ながら低調になってきていると思うが）長い歴史を誇る貴重な高校数学教師の研修の場であるので、今後も継続する方向でお願いしたい。
- ・インターネットを通じて大会の日程や場所・目玉になる内容を知らせて欲しい。
- ・県数のホームページの更新を頻繁に行って

欲しい。難しいようなら、大会の前には是非、更新にて欲しい。

- ・研究発表のレポートが県数ホームページの「その他」項目に入っており、見つけにくい。レポートの内容を見るのがメインなので、もっとショートカットなどを使って、分かりやすくして欲しい。
- ・全県には様々な研究をされている先生もおられると思うので、その研究内容をホームページにアップしてもらえるとありがたい。色々活用できると思う。
- ・集まる回数はできるだけ減らして、効率的に。
- ・CD-Rは全員配布でなく、会員5名に1枚くらいの配布にしてもいいのではないか。
- ・CD-Rは各校1枚配布か、ホームページからダウンロードする形でよいのではないか。
- ・幹事や担当の先生方、大変ご苦労様でした。